

## 庁議記録

日 時 令和5年11月27日(月)

16:30~16:45

場 所 テレビ会議室

### 【濱坂副知事】

それでは、ただいまから庁議を開催いたします。本日の議題は協議事項が2件であります。はじめに「令和6年度重点政策の検討方針(案)」について総合政策部から説明をお願いします。

### 【総合政策部長】

私からは、令和6年度の予算編成に向けて、重点的に取り組む政策の考え方についてスライドに基づいてご説明させていただきます。

それでは、まずスライドの2番をご覧くださいと思います。

政策検討の基本的な考え方です、これまで、新型コロナウイルス感染症への対応ということで、先を見通すことが難しい状況の中で、足元への課題への対応にこれまで機動的に政策に取り組んできたところであります。

そうした中で、令和6年度の当初予算につきましては、コロナ禍後初めての通年予算編成というところがポイントとなります。

したがいまして、顕在化している課題への対応はもとより、国内あるいは海外、世界を意識した打ち出し、コロナ禍後の社会を見据えた検討を進めていく必要があると考えているところであります。

次のスライドをご覧ください。本道を取り巻く状況を整理しています。ご存じのとおり、社会経済情勢は急速に変化しております。ここに例示を挙げておりますが、世界規模の多様な変化があります。こうした情勢変化に適切に対応するため、4ページ目をご覧くださいなのですが、2つの視点ということで、一つは、「安心して住み続ける地域に」ということ、もう一つは「北海道の魅力の世界へ」というこの2つの視点を踏まえて、政策の検討を行っていただきたいと考えております。

1つ目の視点は、「安心して住み続ける地域に」ということであります。具体的には、「子育て政策の充実・医療福祉の確保」、「健やかに暮らせる生活環境」、「北海道に住みたい・働きたい」、「安心して暮らせる地域経済」といった方向で取組を進めることで、道民の皆様の北海道らしい暮らしをはぐくみ、将来にわたってやさしく温かい地域をつくっていく、これを一つ目の柱とさせていただきたいと考えております。

2つ目は、「北海道の魅力の世界へ」という視点であります。具体的には、「未来に向けた産業・人・投資があつまる」、「食をはじめとする道産品」、「みんなが遊びに来たい北海道」、「四

季折々の豊かな自然と歴史文化」といった方向で取組を進めることで、北海道の多彩な魅力を発信し、国内・世界から活力を呼び込み、そして地域に広げていく、こういった方向で検討を進めていきたいと考えております。

また、各々の取組ごとの方向性については、別途ご確認いただきたいと思っております。

次のスライドをご覧ください。最後に政策検討に当たっての留意事項をお示ししております。現在見直しを進めている北海道総合計画と連動させるなど、このスライドにお示した事項に留意していただきながら検討を進めていただきたいと思っております。今後は、今ご説明した方針に基づいて、各部において具体的な事業を検討いただき、知事との議論をさせていただきながら、2月下旬の令和6年第1回定例会に提案していく予定としているので、各部におかれては、ご協力をよろしくお願いいたします。私からは以上です。

#### 【濱坂副知事】

それではこの件に関して、皆様のほうから何か発言はございますでしょうか。それでは、本件については、案のとおり決定をしたいと思います。次に「令和6年度予算編成方針（案）」について、総務部から説明をお願いいたします。

#### 【総務部長】

総務部でございます。「令和6年度予算編成方針（案）」の概要についてご説明させていただきます。まず、「基本的な考え方」ですけれども、ちょうど先程総合政策部長からも説明ありました、令和6年度は、コロナ禍後初めての通年予算編成となります。

このため、顕在化している課題や社会経済情勢の変化の対応はもとより、本道の役割の重要性を踏まえたコロナ禍後の社会を見据えた取組を進めるということを基本的な考え方の一つ目にさせていただいております。

また、もう一方は、道財政は、現時点で令和以降では最大の収支不足額、490億円でございますけれども、こういった見通しにあるなど、引き続き厳しい財政状況でございますので、財政の健全化にも切れ目なく、同時に取り組んでいきたいということでございます。

こういった基本的な考え方を踏まえまして、「予算編成のポイント」ですけれども、「重点政策の検討方針」に基づく優先度の高い施策に、限りある資源を効果的・効率的に配分していきたいということ、また、それにあたりましては、施策・事務事業の徹底した精査、それからスクラップ・アンド・ビルドなどの、「歳出の削減・効率化」に取り組んでいただきたいということ、併せまして、施策間連携や横断的の事業の推進のほか、市町村や民間との連携・協働、こういったことも視野におきながら事業の構築を行っていただきたいと思っております。

こうしたことを踏まえまして、北海道の魅力・ポテンシャルを道外・世界に展開するとともに、地域が躍動する政策を推進し、更に前へ進めていただきたいと思っております。

右下の、「今後の編成日程」について、本日の庁議の後、予算編成方針を決定したものを各部

に通知させていただきたいと思います。その後、2月上旬の知事査定に向けまして、また総合政策部とも議論させていただきたいと思いますが、事業・予算を磨き上げながら、予算編成を進めていきたいと思いますので、何卒ご協力よろしく願いいたします。以上です。

**【濱坂副知事】**

それでは、この件に関して、何か発言等がありますか。よろしいですか。それでは、本件については、案のとおり決定いたします。本日の議題は以上ですが、他に何か発言等がありますでしょうか。それでは最後に知事からお願いいたします。

**【知事】**

本日、令和6年度の重点政策の検討方針と予算編成方針を決定いたしました。これまで、新型コロナウイルス感染症の影響など先行きが見通せない中で、足元の課題に機動的に対応してきたところであります。引き続き不透明な国際情勢など、本道を取り巻く環境が大きく変化する一方、コロナの5類移行を踏まえて、社会経済活動が本格的に活性化しているところであります。こうした状況の中で、令和6年度予算はコロナ禍後初めての通年予算編成となります。急速に変化する社会経済情勢に対応しつつ、日本、そして世界における本道の役割の重要性を踏まえて、コロナ禍後の社会を見据えた政策を盛り込んでいきたいと考えています。

一方で、先程説明ありましたけれど、道財政は、来年度の収支不足額が令和以降で最大となるという見通しであります。こういったことなど厳しい状況が続くことが想定されますことから、限りある資源を効果的・効率的に配分していく必要があります。具体的な事業の検討に当たっては、地域の課題を踏まえるとともに政策検討の基本的な考え方について、全庁で認識を共有する、まずは、各部において、しっかりと議論を積み重ねていただきたいと思います。その上で、北海道をさらに前に進めて行くための政策を、予算編成過程を通じて、皆さんと一緒に練り上げていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。私からは以上です。

**【濱坂副知事】**

それでは、皆さんには、知事の指示事項を踏まえ対応いただくようお願いをいたします。以上で本日の庁議を終了いたします。